

セルロイド産業文化研究会会長退任のご挨拶

古から春は別れと出会いの季節と言われ物事の変化の始まりとなります。
私事ではございますが、私は2026年5月1日を持ちましてセルロイド産業研究会会長を辞することとなりました。

年月を振り返りますと1999年前後にアメリカ合衆国東部のセルロイド研究者であるラウエル氏より日本におけるセルロイド関連の情報の調査依頼を目的とした手紙を受領しました。これが契機で私とセルロイドとの関りが始まりました。

先方が目的とした情報収集についてはすでに日本では既にセルロイドの生産を打ち切っており、企業関係者の多くや現場経験者の方は退職され、高齢者の域に差し掛かっており、統一的な資料や文献等も不備で、期待に応えることが非常に困難でした。
この状況下で協力者探しが始まりましたが、幸いにも私の情熱を理解してくれる方達が多数現れ、資料収集に積極的に尽力してくれる方々のお陰もあり無事ラウエル氏にその成果を届けることが出来ました。

様々な方の多大なるご協力の賜物で、2000年10月にラウエル氏をお迎えし東京赤坂の六本木の国際文化会館でセルロイドカンファレンス2000を開催することが出来ました。

このカンファレンスを良い機会としてセルロイド関係者や企業経営に従事されてきた方、セルロイドコレクターや愛好家、セルロイド加工業に従事されてきた方々、セルロイド眼鏡やセルロイド製品の加工職人等も参加され、セルロイド産業文化研究会が発足しました。その後、年に一回、カンファレンス、集い、交流会と名前を変えながら関係者が一堂に集まる会合を現在まで続けてきました。

同時並行的にセルロイド産業文化研究会の応援で2005年3月には横浜綱島に約10万点の製品、金型、機材、文献資料と図書等を集めたセルロイドハウス横浜館を開設する運びとなりました。この施設は残念ながら建物の老朽化により2024年1月に閉鎖に至りましたが、2029年度を目標に埼玉県新大宮近辺に新施設を計画中です。

セルロイドを広く理解していただくための手段として開設したサイトではセルロイドに関する四方山話を中心としたサロン、学術的資料である研究調査報告などを随時掲載していて好評を博しています。特にサロンは既に250回を超えて固定ファンの方も数多くおられます。

このようにセルロイド産業文化研究会が25年を超えたことは私共の喜びであり、関係者・協力者各位に厚く御礼申し上げます。

私は2026年5月1日付けでセルロイド産業文化研究会会長職を辞することにしました。新会長にはセルロイド産業や文化の実態調査をはじめとして関連文献と資料収集に尽力し交流会で研究発表を行いセルロイドサイトのサロンに多数執筆を継続して、多大なる貢献をされてきたセルロイドハウス横浜館副館長松尾和彦氏に次の会長職の要請を行いご承諾いただきました。

私も引き続き松尾新会長に協力しセルロイド広報、調査活動及び岩井コレクションの保存と活用に関わっていく所存でございますので、松尾新会長とともども皆様方のこれまでと変わらぬご協力お願いして退任挨拶といたします。

皆様方の長年にわたるご指導とお引き立てのほどを重ねて御礼申し上げます。

関係者皆さん方の今後のご活躍とご健康を祈願いたします

2026年5月1日 セルロイド産業研究会会長 岩井 薫生